



おらだの声

令和4年1月発行

『第1回目 おらだのカフェ』を開催しました



11月11日（木）に、西部コミュニティセンターにおいて、米沢市認知症地域支援推進員による認知症カフェ『おらだのカフェ』を開催しました。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域の方々に認知症に対する理解を深めていただくことや、ご本人やご家族の方の相談窓口の開催を目的に、本事業を開催しました。

地域包括支援センターの職員（認知症地域支援推進員）が、皆様からの情報をもとに、ご家族に寄添いながら、専門の医療機関へとつなぐお手伝いをいたします。

当日は、地域の民生委員やご本人及びご家族の方の参加を頂き、情報交換や日ごろの悩み等について話し合いがなされました。

認知症の方やそのご家族の方々の、新たな居場所作りにつながれば良いと思っております。

集まれる場所がある
っていいなあ。

市内の他のカフェに
もいってみようかな

カフェのボランティア
側で地域参加したい。



「第2回目 おらだのカフェ」のご案内

日時:令和4年1月17日(月)10:00~11:30

会場:西部コミュニティセンター 2階 大会議室

※どなたでも、お気軽にご参加ください。

お話や脳トレーニングで、楽しいひと時を過ごしませんか。
認知症地域支援推進員一同、心よりお待ちしております。

問合先:米沢市高齢福祉課 地域包括支援担当

連絡先:0238-22-5111 (内線3907)

おらだの
カフェ



この旗が
目印
です!

脳トレにチャレンジ!



さあ、試してみましょう。

□にあてはまる文字を入れてください。

①さ□ら□ぼ

②で□う□あ

③ま□か□と

④ら□ら□す

⑤ふ□り□ご

※ヒント 山形は〇〇〇〇王国

美容師さんの勉強会にお邪魔しました！！

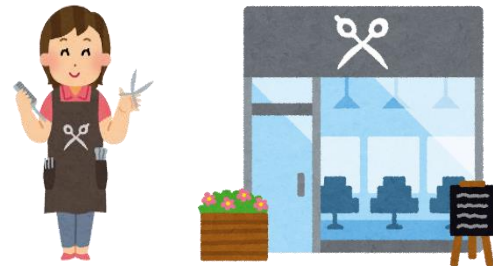
11月15日ハートフル訪問美容 置賜ブロック様の勉強会で認知症サポーター養成講座を開催しました。

定期的にご利用し、おしゃれな美容師さんと思い出や世間話を楽しめる心地よい特別な時間である美容室。講座では、長年に渡り担当している馴染みの関係である高齢のお客様だからこそ感じる変化や、対応法について活発な意見交換が行われました。

「毎回、何度も同じ話をされ認知症が疑われる方。

施術中は合わせた対応をしているが、家族に話した方が良いのか。相談が出来る機関はあるのか。」との質問には、ご家族への連絡や、高齢者の相談窓口地域包括支援センターの紹介を行い連携して地域を支えるご協力をお願いしました。

「車の運転が心配で、会話の中で予定を聞きながら、帰宅予定時間に電話で到着を確認している。」とお店の中だけでなく最後まで見守ってくださっている美容師さんもおられました。



今回、美容師さん向けの講座で、沢山の高齢者に対する見守りの目を持っていただいている事を改めて感じました。今後も、認知症になっても住みやすい米沢に向け、様々な職域での認知症の理解を深められるよう、認知症サポーターを広めていきたいと思います。

Aさんのある日の出来事・・・

デイサービスから自宅に帰宅。 	いつもとは違う店で買い物。 
無事、家族のもとに。 	帰り道が分からなくなり、通りかかった方が声をかけてくれました。 

後日 A さんにご家族にお会いし、お話を聞いたところ・・・



Aさん

はて、そんなことあったかな？その日はいつものように買い物して帰ってきたわよ。



家族

買い物のレシートを見たら18時台には買い物を終えたようだ。警察から連絡がきたのが、23時。5時間も迷子になっていた。どうしたらよいのか～。

冬になり日暮れが早くなったことで、自宅に帰ることができなくなった A さん。いつもなら出来るのに出来なくなるのが認知症です。だからと言って、在宅生活をやめる必要はありません。米沢市には徘徊高齢者等支援事業「かえっぺ」があります。A さんもこの事業に登録し現在も自宅で元気に生活されています。この事業の窓口は、米沢市高齢福祉課（☎22-5111）です。お困りの方や悩んでいる方はご連絡下さい。

〒977-0801 米沢市
〒977-0801 米沢市
〒977-0801 米沢市

〒977-0801 米沢市

発行者：米沢市認知症地域支援推進員
高齢福祉課地域包括支援担当 ☎22-5111